

「ICTを活用して家庭学習の充実を！」

子どもたちが主体的に学ぶために効果的にICTを活用する。
ICTも活用しながら家庭と学校の学びを往還させ、家庭での学びを充実させる。

“ICTを活用する”とは？

なぜICTを活用することが必要なの？

全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現するためには、学校教育の基盤的なツールとして、**ICTは必要不可欠なもの**だといえます。今、世界中の知識はインターネットを検索すれば容易に収集できる時代で、もはや教科書だけでは子供が獲得する情報は不足してしまっています。知りたい・学びたい知の欲求に答えることで、子供の主体的な学びにつながります。

子供たちの可能性を引き出すICT

子供たちがICTを日常的に活用することより、知りたいときにいつでもどこでも学ぶことができ、自らの学習を調整しながら深めていくことができるようになります。やりたいことを追求できる環境ができることで、予想しなかったような形で子供たちの可能性を引き出されることにも着目する必要があります。



どんな役割があるの？

知の欲求にすぐに応えるツールとして

*知りたい！辞書としての役割

インターネットで知りたいときに調べることができ、知りたい欲求に答えます。

*見たい！友だちの意見を見る班活動の役割

ロイロノートやJamBoardなど、学級全体に一人一人の意見が反映でき、友だちの発表した意見だけではない考えも端末を通して「見る・知る」ことができます。他者の意見をつないで深めることも容易になります。

多量の記録・記憶を持ち歩けるツールとして

*まとめる！ファイルとしての役割

データに打ち込んだり、スライドにしてまとめたりなど、自分が分かりやすい形で保存することができます。写真で記録したり、記録媒体としても有効です。

*振りかえる！自学ノートの役割

記録として様々なデータが保存してあれば、家庭で授業を思い描くことができます。持ち帰ることが難しかった立体的なものなど、端末を通して確認できます。

どのように取り入れるの？

授業の学習とつなげる工夫を！

家庭学習を充実させるためには、授業の学習とつながるように支援していくことが大切です。

左のように授業で活用したデータを、家庭学習で使用する場面を考えてみましょう。



*分からないことを振りかえる

ICT端末に保存して置いたデータを活用すれば、その日の授業が振り返りやすい子供もいるはずです。データを基に想起しながら、自分の考えをまとめる、定着を図るための問題を行う、なども可能となります。

*予習や反転学習に活用する

事前に調べる、生活する中で発見したことなどを撮影して授業に向かうなど、ICT端末をうまく活用した宿題なども考えられます。問いをもって授業に望むこともできそうです。



ICTをどこで取り入れるかが鍵！
大切なのはICTを使いこなすこと！



慣れる、つながる活用

スタディーエックススタイル
StuDX Style — 文部科学省HP



家庭学習の留意点

学習指導の基本を身に付けよう
「授業づくりQ&A」
— 浜田教育センター研究・研修スタッフ



個別最適な学びとの関連

目の前の課題に、自分のペースややり方で取り組むことが可能です。例えば一斉授業で学んだ後にやりたいジャンプ課題を選択して取り組む、関連した課題を家庭でも実施するなど考えられます。